



環 政 一 658
平成13年11月14日

都市計画決定権者

秋田県知事 寺 田 典 城 様

秋田県知事 寺 田 典 城



都市計画道路鷹巣高速線・大館南高速線に係る環境影響評価準備書
に対する意見について（通知）

このことについて、環境影響評価法第20条第1項の規定に基づく環境の保全の見地からの意見は次のとおりです。

1 総括的事項

- (1) 環境影響評価方法書段階から準備書段階への対象事業実施区域の絞り込み及び道路構造の検討に当たり、環境保全上配慮した事項について記述すること。
- (2) 環境影響評価における予測結果は、将来の社会・経済情勢の変動等により予測条件が変化することから不確実性を伴うものであり、予測結果の検証及び環境保全措置の効果把握の観点から、事業実施段階及び供用後において、道路交通センサス等の既存調査の活用等により、環境の状況や交通量等を把握すること。
- (3) 工事等の詳細は今後決定される部分も多いことから、詳細の検討に際しては、環境への影響についても検討するとともに、施工及び道路の供用に当たっては環境保全に十分配慮すること。
- (4) 事業実施段階及び供用後において、環境影響評価で予測し得なかった環境に及ぼす影響が生ずる事態が発生する場合には、関係機関と協議の上、原因究明のための調査を行うとともに適切な環境保全措置を講じ、必要に応じて環境監視を行うこと。

2 個別的事項

(1) 大気質

ア 自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の予測結果において、「環境影響の程度は極めて小さいものと予測される。」と評価しているが、その根拠等を示し、解りやすい表現にすること。

イ 建設機械の稼働及び資材等の運搬車輛の通行に係る季節別降下ばいじん量の予測結果において、計画路線に比較的近い県北部地域における降下ばいじん量測定値の5割を超える地区があり、「環境影響の程度は極めて小さい。」とは言えないと考えられることから、散水などの適切な環境保全措置を講じ、必要に応じて環境監視を行うこと。

(2) 騒音

- ア 自動車の走行に係る騒音予測結果において、「環境影響の程度は極めて小さいものと予測される。」と評価しているが、その根拠等を示し、解りやすい表現にすること。
- イ 建設機械の稼働に係る騒音の予測結果において、特定建設作業に伴う騒音の規制基準値と同レベルとなる地区があるが、同基準値は改善勧告又は改善命令の発動要件となる値であることから、「環境影響の程度は小さい。」とは言えないと考えられる。さらに、環境保全措置として低騒音工法等を採用することとしているが、具体的な内容や期待される低減効果が示されていないことから、周辺地域への影響の程度及び環境保全措置の効果を把握するための環境監視を行うこと。
- ウ 資材等の運搬車輛の通行に係る騒音の予測結果において、現況道路交通騒音を3デシベル上回る地区や環境基準値に極めて近い値となる地区があり、「環境影響の程度は極めて小さい。」とは言えないと考えられることから、輸送の効率化や適正走行の励行などの適切な環境保全措置を講じ、必要に応じて環境監視を行うこと。

(3) 振動

- ア 自動車の走行及び資材等運搬車輛の走行に係る振動予測結果において、「環境影響の程度は極めて小さいものと予測される。」と評価しているが、その根拠等を示し、解りやすい表現にすること。
- イ 建設機械の稼働に係る振動の予測結果において、特定建設作業に伴う振動の規制基準値に極めて近い値となる地区があるが、同基準値は改善勧告又は改善命令の発動要件となる値であり、「環境影響の程度は極めて小さい。」とは言えないと考えられることから、低振動工法の採用などの適切な環境保全措置を講じ、必要に応じて環境監視を行うこと。

(4) 水質・地下水

- ア トンネル工事及び橋梁工事に伴う濁水等による河川等公共用水域の水質汚濁を防止し、魚類等への影響を低減するための環境保全措置について、排水処理設備の設置も含めて検討するとともに必要に応じて放流水質について監視すること。
- イ トンネル工事に当たっては、周辺地域において地下水が飲用等に利用されている状況を考慮し、地下水脈の変化による影響を回避できるよう、適切な工事計画のもとに施工すること。

(5) 動物・植物

工事中において、新たに希少な動植物が確認された場合には、専門家の意見を聴取し、現地調査を実施した上で、これらの種の生息・生育環境に対する影響が最小限になるよう適切な保全措置を講じ、必要に応じてこれらの種に対する影響の程度及び保全措置の効果を把握するための事後調査を実施すること。

3 その他の事項

大気質、騒音、振動に係る工事に伴う影響予測において、工種、ユニット数、工事用車両台数等の前提条件の設定過程について、解りやすい表現で、可能な限り詳細に記述すること。